

## 第28回 食事サービスを考えるつどい

食事サービス活動は、在宅福祉制度や介護保険制度などが整う以前から、市民による自主的な地域の助け合い活動として各地に広がってきました。現在国では、介護保険制度改正の議論の中で、要支援者の訪問介護や通所介護を区市町村事業に移行すること、また市民参加による生活支援サービスの普及推進についても検討しています。

住民参加による食事サービス活動は、食を提供すると共にふれあいや支え合いといった住民互助の関係、または地域の居場所づくりにつながります。「市民参加による居場所づくり」は、出会いと気づきを共有する相互扶助の活動として期待されています。今年度のつどいでは「介護保険制度改正と市民参加による生活支援サービス」「食を通じた居場所づくりの実践」をテーマとします。参加者同士の情報交換の時間もあります。

食事サービス活動に関心のある方なら、どなたでもご参加いただけます。どうぞご参加下さい。

**日時：平成26年1月19日（日） 10:30～16:30（予）**

**会場：飯田橋セントラルプラザ** 12階（飯田橋駅：JR西口、地下鉄B2出口）

**参加費：2,000円（配食サービス豊芯会のお弁当と飲み物付!）**

参加対象：食事サービス活動に関わるNPO、ボランティア、社会福祉協議会、自治体職員、および食事サービス活動に関心のある方

主催：東京食事サービス連絡会、

共催：東京ボランティア・市民活動センター、一般社団法人全国老人給食協力会

<プログラム(案)> ※プログラムは現在検討中であり、内容など変更することがあります。

10:30 開会挨拶（受付開始10:00）

10:35～11:15 第I講義 「市民参加による居場所づくり～協働空間」  
講師：山崎美貴子先生（東京ボランティア・市民活動センター所長）

11:20～12:00 「地域との関係づくり」生活支援サービスのひろがり（仮）  
講師：安岡厚子氏（サポートハウス年輪理事長、西東京市）

12:00～ランチ・情報交換会 ※グループ毎に情報交換をしましょう

13:00～13:40 第II講義 介護保険制度改正と市民参加団体の動向について仮  
講師：田中尚輝氏（市民福祉団体全国協議会専務理事）

▽前ページより続く

13:45～ パネル・生活支援サービスを広げるために～出会い・気づきの場づくり  
縁側のように人々が出会い、関係を持てる場所、そして活躍する場が地域の中に必要だ  
といわれています。活動事例を通じて、食を通じた生活支援サービスの広がりについて  
考えます。

事例報告者：坂田朱美氏（NPOいきいき会代表理事、高槻市）

藤森良子氏（支え合う会みのり代表、稲城市）

講師：山崎美貴子先生（東京ボランティア・市民活動センター所長）

田中尚輝氏（市民福祉団体全国協議会専務理事）

16:10 まとめ・閉会※予

★ お申込・お問い合わせ先：東京ボランティア・市民活動センター

TEL：03-3235-1171 FAX：03-3235-0050

★ホームページからもお申込になれます。 [Http://www.tvac.or.jp](http://www.tvac.or.jp)

参加申込書

第28回食事サービスを考えるつどい FAX：03-3235-0050

氏名（フリガナ）	
団体名	
住所 （選択→団体・自宅）	〒
電話	
FAX	
メールアドレス	

※今後催事のご案内などを送付させていただく場合がございます。

※お名前や所属を、昼食の情報交換会のグループ分けに使用（参加者に配布）

いたします。予め、ご了承下さい。